

の?』という絵本を読み始めると、すぐに顔をこちらに向けて視線を合わせるようにしています。ずっと注目しているのではなく、職員を見て素材を触り、また見ては触りを繰り返して、チラチラと気にしているようでした。繰り返してでくる「あのやまこえてどこいくの?」というフレーズで問いかけるようにするとそのタイミングで職員と目線を合わせました。語りの流れの中で、その繰り返しや問いかけられるタイミングを感じて合わせているようでした。



『めのまどあける』という本は、早口言葉のような言葉が繰り返される絵本です。読み始めると、動きを時々止めて語りかけを聞いています。「ひつちらかし、とつちらかし、おつぱらかし、おおあらし」

のフレーズで笑顔が見られました。リズムのある面白言葉を楽しんでいるようでした。

夏期デイケアを終えて 岩本 摩紀

夏期デイケアは特別支援学校在学中の児童を対象とした夏休み限定のデイサービスです。学校が夏休みの間、楽しく過ごせることを目的として行なっています。今年27名の子どもたちが週2回ずつ参加し、1日に12名程の利用がありました。

初めて夏期デイに参加する子どもは、いつもとは違う雰囲気緊張している様子もありました。しかしスタッフと一緒に手遊び歌や絵本の読みかきせを聞いている間に少しずつ表情も和らぎ、帰る頃にはたくさん遊んだことに満足した様子でした。

活動では、エアトランポリン、スイカ割り、水遊び、ボールスライダーをおこないました。また、カラーシート、磁石、シャボン玉などを使った遊びもしました。

ボールスライダーは、たくさんボールを敷き詰めた上をダンボールで作った板に乗

り、滑るようにしました。とても楽しそうな表情でボールの上を滑る動きを感じていました。また、周りで見ている子どもたちも、滑っている様子を見ていました。ボールスライダーやエアトランポリンのように、普段の生活では感じることの出来ない夏期デイならではの大きく揺れたり跳ねたりする動きを、みんなとても楽しんでいました。



カラーシートを使った活動では、カラフルな大きなシートを広げるとみんな集中して見ていました。カラーシートを上下に動かすと、色が近くなったり遠くなったりする動きがおもしろいようで、体を動かす活動とは違い子どもたちの真剣な表情が見られました。



磁石をつけた魚とひもがくつつくようにして、釣りに見立てて遊びました。みんな一生懸命とろうと真剣な表情で魚を釣ろうとしていました。魚が釣れると、嬉しそうな表情でスタッフの顔を見て、周りから「すごいね」と声を掛けられたり、拍手が聞こえるとても嬉しそうな表情をしていました。

水遊びのためにスタッフがプールの準備をしている時から、子どもたちはワクワクした表情をしていました。プールに入ると、じょうろから出てくる水の動きをじっと見ている子や、手を伸ばし水に触れようとしている子もいました。



苦情解決委員会より

平成 28 年 4 月～ 28 年 6 月
公表する苦情はありませんでした

	7月	8月
ショートステイ利用者数 (延べ利用日数)	116人 (479日)	112人 (485日)
日中一時支援利用者数 (延べ利用日数)	0人 (0日)	25人 (134日)
ボランティア参加人数 (グループ数)	18人 (5グループ)	0人 (0グループ)
実習者数 (グループ数)	3人 (1グループ)	6人 (3グループ)